

事後評価【番号4】砂防防災課

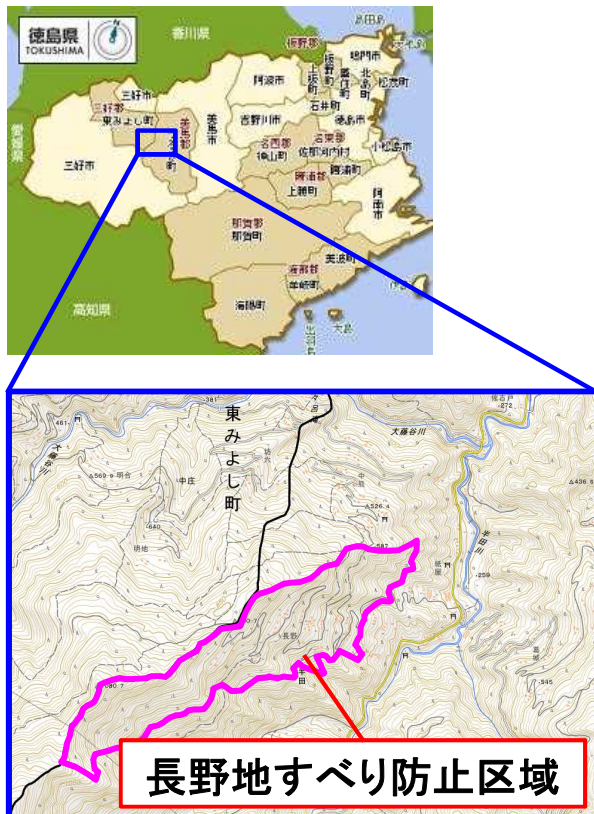
長野地すべり防止区域
地すべり対策事業

1. 地すべり対策事業の目的

事業の目的

場 所:美馬郡つるぎ町半田(長野地すべり防止区域)
保全対象:人家17戸、県道550m(緊急輸送道路)、町道1,850m(避難路)
現 況:町道擁壁の変状や民家土間コンクリートのクラックなど、
地すべりの兆候が多数見受けられる

位置図



保全対象



2. 地すべり防止工事について

地すべり防止工事

抑制工

地下水などの自然条件を変化させることによって、地すべり変動を抑制する工法

集水井工

井戸を掘り、中から集水ボーリングを施工し、地下水を排除する

横ボーリング工

水平方向に排水管を設置し、地下水を排除する

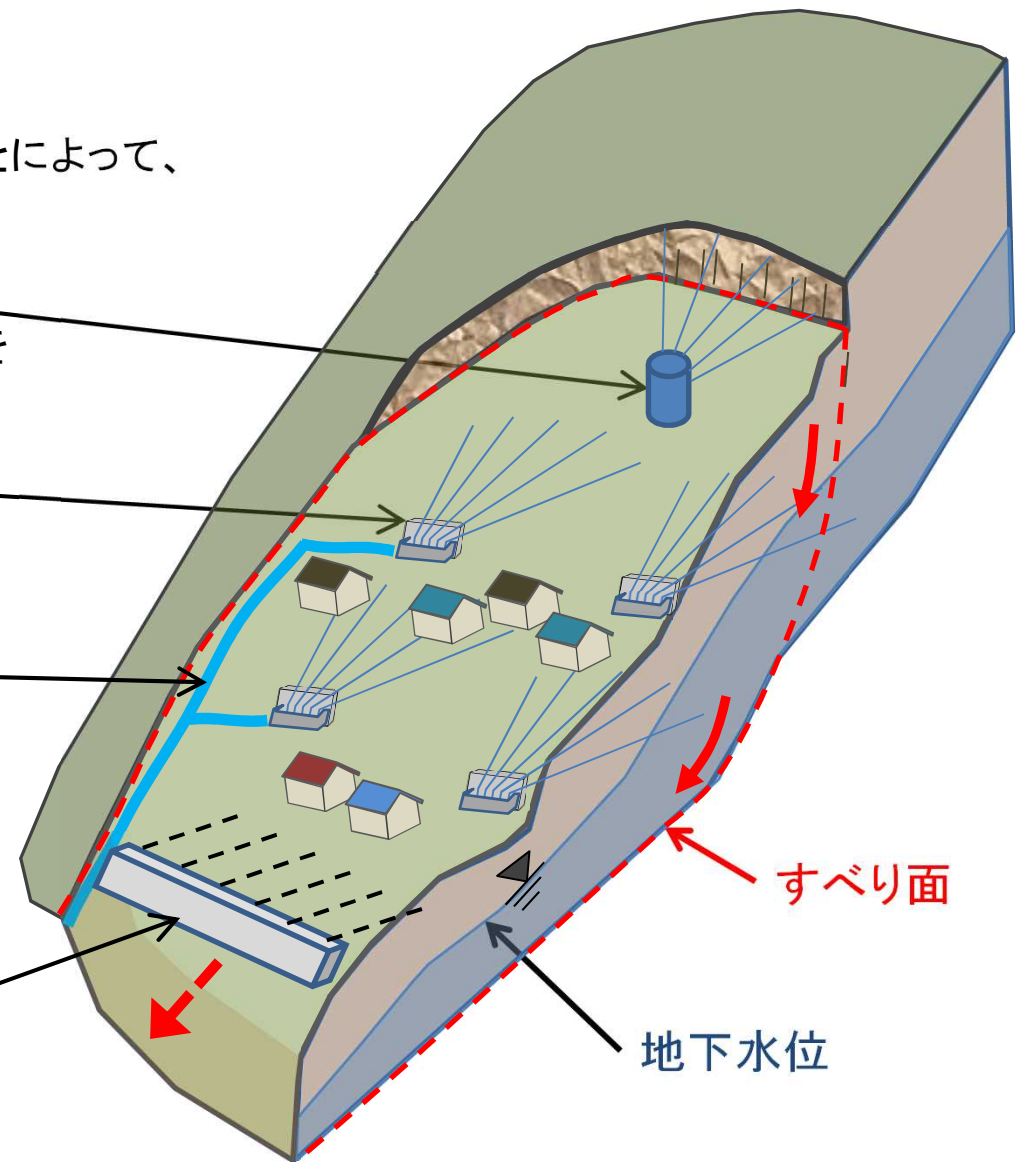
水路工

地表水や横ボーリングからの排水を再浸透しないよう排除する

抑止工

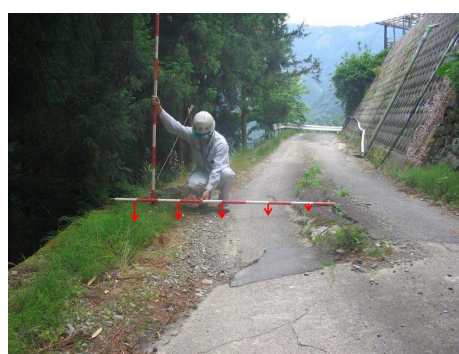
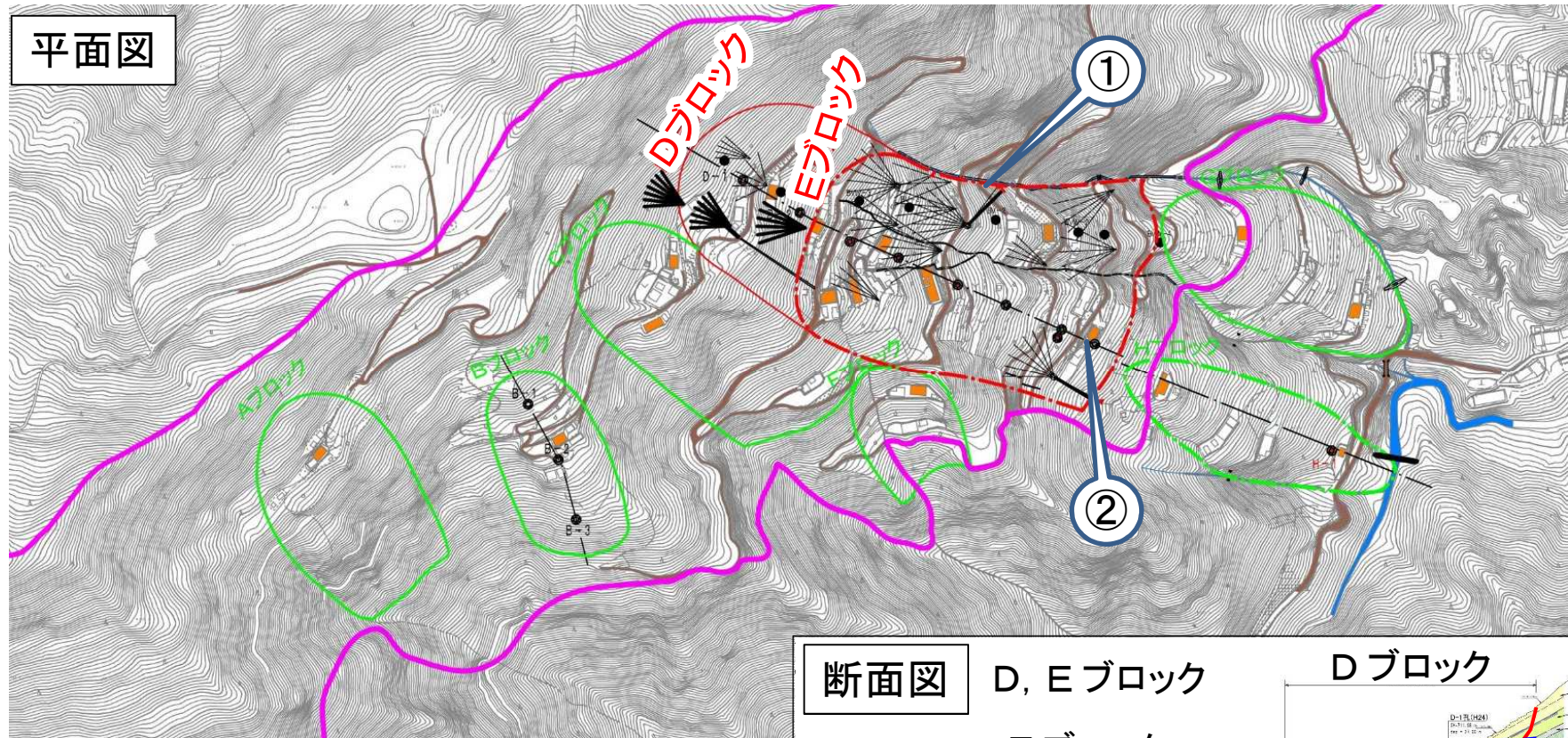
構造物の抵抗力により、地すべり変動を抑止する工法

アンカー工



3. 地すべり対策事業の概要

平面図



① 路面のクラック及び沈下

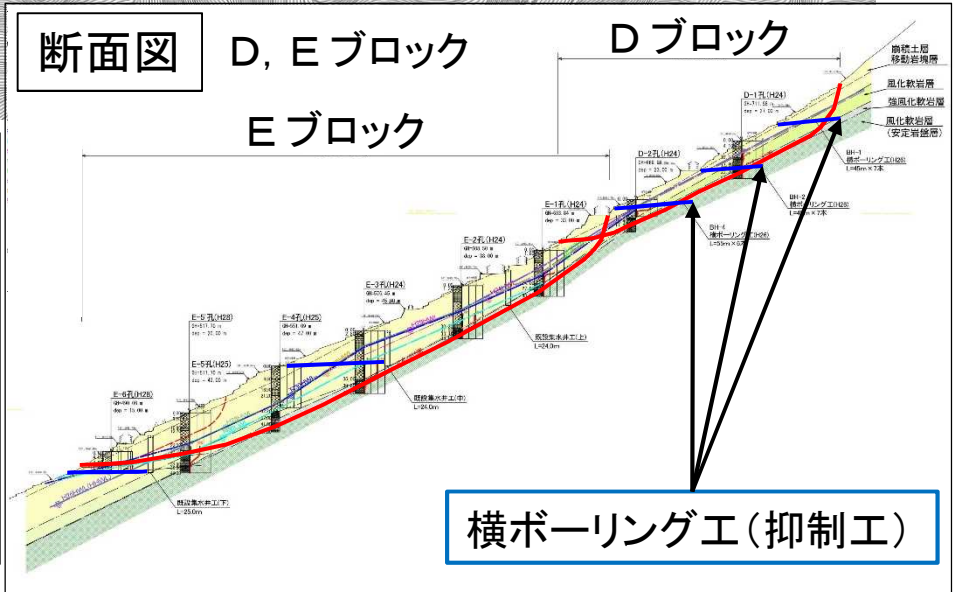


② 民家土間Coの沈下

断面図

D, Eブロック
Eブロック

Dブロック



横ボーリング工 (抑制工)

4. 地すべり対策事業の効果

整備効果

- ・人家: 17戸
- ・県道小谷西端山線
(緊急輸送道路)
- ・町道(避難路)

費用便益分析 $B/C=7.9$

事業期間: 平成24年度～
平成30年度

評価基準年: 令和元年

総便益: 1,824百万円

総費用: 230百万円



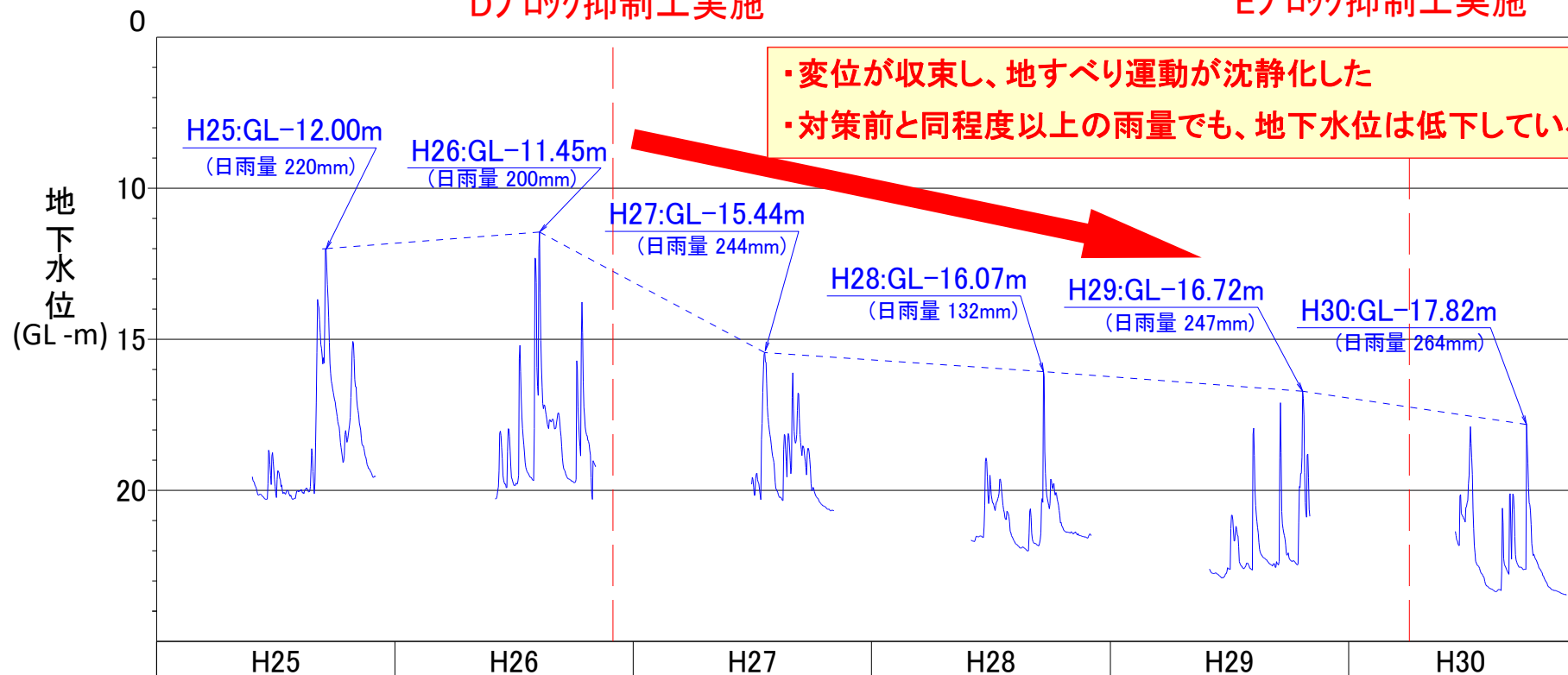
横ボーリング工
(Dブロック)



水路工
(Eブロック)

Dブロック抑制工実施

Eブロック抑制工実施



砂防事業によるストック効果 <地すべり対策事業 長野>

○長野地すべり対策事業では、

- ・人家17戸
- ・緊急輸送道路である県道 小谷西端山線
- ・地域住民の避難場所となる旧紙屋小学校への避難路(町道)

を保全した

○地すべり防止施設の整備により

- ・**地域住民の人命及び財産の保全**
- ・**避難経路の確保**
 - 地域の総合的な防災力向上**
- ・**地域のシンボルとなる天然記念物の保全**
 - 地域の魅力向上・観光客の誘致**

といったストック効果が期待される



天然記念物

【岡見堂の桜】

樹齢300年以上とされ、樹姿が美しく、春には観光客も多い